

「M情報デスク」サポート団体  
 NPO 法人百人の会 救う会大阪  
 秋田三輪さんを救出する川西市民の会  
 米国に原爆投下謝罪を求める会  
 スパイ防止法の制定を求める会  
 日教組の違法行為を追及する市民の会  
 竹島を奪還する会・関西  
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会  
 大阪の公教育を考える会、他

# MASUKI INFO, DESK FIGHTING REPORT



No. 151  
 【発行・編集】  
 MASUKI 情報デスク  
 増木直美  
 大阪府豊中市上新田2-6-25-113  
 TEL 090-3621-1509  
 FAX 06-6835-0974  
<http://mid.parfe.jp/>  
[mid@jewel.ocn.ne.jp](mailto:mid@jewel.ocn.ne.jp)

## グレンデール市へ特別攻撃隊！

などに見出しをつけると、まず松浦先生から「過激なこと書いてダメよ！」とお断りを受けそうですが、彼らの気持ちは正に特攻だったと思います。彼らの心には片道燃料しか積んでなかったと察します。一つ間違えと、帰国後総批判を浴びることもなかりかねないわけですから、でも出発前に松浦先生が言われました。「誰かがやらないと・・・」

皆さんご存知のように、米カリフォルニア州グレンデール市に「慰安婦」像が設置されました。またブエナパーク市は慰安婦像設置案の採決を取りやめました。杉並区議松浦芳子隊長以下13名は1月14日夕刻、賛同者323名(百人の会も70名ほど)、石橋良三先生も必死で広島をまとめていただき)の名簿を抱え、成田を離陸。だれとは申し上げませんが、出発ギリギリの14日、夜8時ごろ、2名の議員から賛同のNAMEが百人の会の事務所に入りました。ダメもついで(隊長は忙しいと思ひ)旧知の山本へるみ隊員に電話。今、正に出発。ギリギリでセーフ！で名簿に加えていただくことができました。グレンデール市には「抗議」というより「慰安婦」の歴史的事実を説明に(ところが同市議団は面会を拒否)。また、ブエナパーク市には表敬訪問し、同市の議会で、松浦隊長が敬意と感謝を表するスピーチを行いました。(次ページに掲載)今回の作戦は、東大阪市樽本丞史議員が昨年暮れに一人で渡米し偵察。道筋をつけれられました。「零式水上偵察機」を使用したかどうかは知りませんが。今回、盟友のM氏に、氏が応援している会派の議員の賛同をお願いしました。ところが中韓が問題になっているテーマだからと拒否。氏は怒り心頭！！渡米した議員、賛同議員。議員各位の



の政治信条がよくわかりました。増木

ブエナパーク市議会にて  
 前列左から、せぬま剛足立区議・辻村とも子狛江市議・松浦芳子杉並区議・前市長のスウィフト議員・ブラウン議員・小島神奈川県議・植松和子函南町議 後列左から、櫻庭節子新潟上州市議・白須夏建て直そう日本女性塾役員・山本光宏和中市議・山本へるみ前港区議・桜井秀三松戸市議・池尻英樹堺市議・田中裕太郎杉並区議・藤田誠通訳

「M情報活動報告」編集指針：政治や国際問題、市民活動に全く無縁だった一般の人達に、「おばちゃん語」で政治を届ける

ブエナパーク市議会の皆様こんにちは

私は、杉並区議会議員の松浦芳子でございます。このたびは、日本より13人の地方議員を中心とした視察団の訪問を受け入れて下さり、有難う御座います。また、こうして皆様にお話しする機会を頂き大変光栄に存じます。誠にありがとうございました。

Mayor Mr. Miller Oh and members of the City Council, I am Yoshiko Matsuura, an Assembly member of the City of Suginami in Tokyo. On behalf of the 13 Delegation members from various City Assemblies in Japan, I would like to express my gratitude. I am deeply honored to have given this opportunity to speak to you today.

大変申し訳ありません。ここからは通訳を介させていただきます

Please allow me to speak in Japanese from now. Our interpreter will translate into English.

私は、二人の息子と二人の娘の母でもあります。子供が小さい頃は毎日必死で子育てに奮闘しておりましたが、お蔭さまで今は四人ともそれぞれの分野で活躍し、時には私を助けてくれます。

日本では、子供は「親の背中を見て育つ」とよく言われますが、今では親である私が子供の背中に学ぶことも多く、大変有り難いことだと思っております。

I am a mother of two sons and two daughters. While my children were small, I really have to struggle everyday to raise them. Now all four of them have grown up, working in their own fields, and help me sometimes. In Japan, we say "Children grow well looking the back of their parents." I now learn a lot from my children, which is a very rewarding.

また、今回は13人の思いを共にする同志と訪米することができ、感謝に堪えません。

I cannot express how much we thank for being able to visit America together with 12 of my likeminded comrades.

ブエナパーク市には、ナッツベリー・ファームという遊園地があるのですね。スヌーピーは日本でも有名で、子供から大人まで幅広い日本人に愛されています。

今回は、視察で来ましたので行く事が叶いませんが、次回、プライベートで訪問した際には是非行ってみたいと思っています。

Buena Park is famous for Knott's Berry Farm. Snoopy is popular and loved in Japan from children to adults. Unfortunately, we cannot visit the park this time, due to our official capacity. When we visit next time as private visitors, we would definitely like to visit Knott's Berry Farm.

ブエナパーク市議会の様子については、日本でも報道されておりますので、8/27日に貴議会で行われた議決についてもよく承知しておりますが、見識と良識ある活動をされておられる事に敬意と感謝を表します。

日本と米国は、これまでの歴史の中で様々な経験を乗り越え、今は、友好国として絆を深めており、良いパートナーとして共に世界に貢献しております。

As there are media reports about Buena City Council in Japan, we are informed about your Council's resolution as of August 27 last year. We highly respect your sensible reason and action. The United States and Japan have overcome various hardships in our history and deepened our bilateral relationships. As partners, we have contributed a lot to the world.

3年前、日本は大きな地震と津波の災害を受けました。その時、アメリカ軍は「ともだち作戦」と称し、すぐさま救助に駆け付け、助けて下さいました。その恩を私たち日本人は決して忘れません。この場を借りまして改めて感謝申し上げます。

Three years ago, Japan suffered massively by a killer earthquake and Tsunami. At that time US Forces named its operation "Tomodachi" (meaning "Friends") and immediately came to rescue people suffering from the disaster. We will never forget the friendship your country offered to us. Taking this opportunity, I would like to express our gratitude again.

アメリカの軍人さん達が、日本での支援を終え仙台空港から飛び立った際、仙台空港の上空から、滑走路近くの砂浜に木の枝で書かれた「ありがとう」の文字を見つけたそうです。米国の方々も大変感動されたと聞いています。

When American soldiers took off Sendai Air Port upon completion of their mission in Japan, they saw letters made of woods which read ARIGATO (meaning "Thank You") on the beach near the air strip. I heard American soldiers were also moved. (Photo 1)

日米両国の確かな絆が再確認された瞬間でもありましたが、それ以外にも日米両国の友好にまつわる素敵な話は沢山あります。

It was the moment when the bond of our bilateral relationship between the United States and Japan became much firmer. But we have more stories to confirm our friendship between the two countries.

また、日本とアメリカは経済的にも良きパートナーです。アジア太平洋地域からアメリカへの海外直接投資は、日本は71%、オーストラリアは14%、シンガポールは6%、韓国は5%です。アメリカと日本は協力し世界で大きな役割を果たしています。

今後も両国の絆を深め良い友好関係を築いていきたいと思っております。

Economically as well, we are good partners. Direct investments to America from Asia-Pacific region are: Japan 71%, Australia 14%, Singapore 6% and South Korea 5%. Cooperation together, America and Japan play a great role for contributing to the world. We certainly believe that we would like to deepen the bond of our relationship further. (Chart)

皆様は、日本にいらしたことがありますでしょうか。

日本には、2600年以上、125代続いた皇室があります。

Have you ever come over to Japan? In Japan, we have the world's longest monarchy which has been in Japan for over 2,600 years to the 125<sup>th</sup> Emperor of the present.

また日本には、約8万社の神社がありますが、その中でも、日本人の心の故郷である伊勢神宮という神社は、20年ごとに隣の敷地にまったく同じ社をつくり、これまでの社から新しい社に移る遷宮という儀式を執り行います。これは日本最大のお祭りであり、昨年は、62回目の遷宮が執り行われ、1300年前と全く同じ社がまた新たに建てられました(写真3)。

日本伝統の継承のシンボルと言えますが、今回の遷宮でも先頭を斎王(いつきのみや)と呼ばれる天皇の未婚の皇女が歩み、そのあとを男性の大宮司(だいぐうじ)が歩いておられるのがとても印象的でした。

Also in Japan, we have over 80,000 Shinto shrines. The Grand Shrine of Ise, among all, is a homeland of the heart of the Japanese. Every 20 years, its two main shrines (inner and outer) are renewed, built on the land just next to the precious shrine was built. The ceremony is called "Sengu" meaning transferring old shrine to a new shrine. It is the biggest festival in Japan. We had its 62<sup>nd</sup> ceremony just last year and the shrine exactly the same one built 1,300 years ago was rebuilt. (Photo 3) It symbolizes Japan's continuation of tradition. And it was impressive, above all, the ceremony was lead by "Itsuki-no miya," a female chief priest and unmarried princess of the Emperor, then followed by the male grand priest "Dai-guji" (Photo 4)

日本は、古代より文化的に女性を大切にす国家でした。ですから男女分け隔てなく女性にもしっかり教育がされていました。それは、千年前の女流作家、紫式部や清少納言の恋愛小説が誕生したことから明らかです。(写真5)

Japan is the country which respects women culturally since ancient period. Naturally, education has been given to female without any discrimination against men. Such culture produced female novelists such as Murasaki Shikibu or Sei-Shonagon even over 1,000 years ago. (Photo 5)

今回視察に参加したメンバーは、13名中、私を含む5名が女性ですが、すべて日本の各自治体の議員関係者です。

日本では、高齢化が進み、各自治体でも医療費削減のために病気にならない予防の施策がとられていますし、女性の仕事と家庭が両立できるような施策にもしっかり取り組んでいます。待機児対策には、多くの自治体が苦勞している所でございます。

より良い地域作りこそが、より良い国作りの原点であると信じ、それぞれ日々邁進しております。

In our 13-member Deligation, five of us including myself are women and we are all City Assembly Legislators. Japanese society is aging. Each municipality implements measures to prevent disease to cut medical expenditures. We also implement measures for working women to manage work and house duties. Due to lack of nursery schools, there are a lot of children on the waiting lists for enrollment. That is a common problem of almost all municipalities. Creating good local community is the foundation of building a good country. We make day to day efforts to attain such goals.

私達は、強くてあたたかく指導力のあるアメリカであって欲しいと願っています。

両国の理解を更に深めるためには、両国民の交流が不可欠であります。そのためにも、両国の自治体同士の友好関係は大変重要であると感じています。

We honestly expect America to be strong and heat-warming country with initiative. To deepen mutual understanding of the both countries, we definitely need exchange of both nationals. To that end, it is vital to have exchanges of local municipalities between the two countries.

既に〇〇の都市が姉妹都市などの友好関係を結んでいると承知しておりますが、今回の視察をご縁に、今後お互いに友好を深めていかなければと強く願っております。

We understand "Such-and-such" cities have friendly relations as sister cities. Taking this opportunity of our visit this time, we would like to deepen our strong friendship ties further from now.

2020年には、東京オリンピックも開催されます。皆様を気持ち良くお迎えするために、私達は全力で「おもてなし」させて頂く所存です。

是非日本にお越し下さい。お待ちしております。

In 2020, the Olympics will be held in Tokyo. We would like to welcome you comfortably and do our best to "O-mo-te-na-shi." Please come to Japan. We look forward to meeting you again in Japan.

本日は、貴重なお時間を頂き有難う御座いました。心より感謝申し上げます。ご静聴ありがとうございました。

Thank you very much, again, for giving us your precious time and thank you for your kind attention.

**慰安婦像設置抗議のための訪米録**  
**神奈川県議会議員 小島健一**  
<http://kojimakenichi.blog65.fc2.com/>

**1日目**

1月14日(火)18:50  
 成田空港から、HISの安いパック旅行を利用し、LAへ出発。  
 松浦芳子杉並区議を代表として13名の同志(内、議員は11名)で、321名の署名を携えて、アメリカ・カリフォルニア、ロサンゼルス近郊のグレンデール市に向けて、慰安婦像設置抗議という強い決意の下、旅立った。

10時間半という長旅の末、LAに到着(1月14日午前)。ホテルにてチェックインをすませ、すぐに一日目の訪問先へ1月14日(火)15:00  
 ブエナパーク市庁舎を訪問

夏、グレンデール市の慰安婦像設置が決まった直後に議題となっていた像設置案をめぐる採決を中止するという決定をした。これは、韓国系のオー現市長が提出した設置案について他の4人の市議が賛同しなかったということであり、その極めて真つ当な対応に対して敬意を表するための訪問であった。私達の訪問に対しては、スウィフト市議(前市長)とブエナパーク市議が懇談に応じてくれた。  
 さらに正式に14日の市議会に出席することを許可され、松浦議員が代表して「日本の歴史の素晴らしさ、アメリカにおける日本企業の貢献、日本は女性を大事にする国柄、そしてブエナパーク市の良識に対する敬意等」をスピーチした。慰安婦像設置を未だにあきらめていないオー現市長の面前でのスピーチであり、彼の冷やかな視線も感じましたが、他

の良識派の市議に希望を託し、今後のブエナパーク市と日本の友好のさらなる促進の必要性を強く感じた次第。

ブエナパーク市庁舎を後にして、次にゲーテングローブの韓国系ショッピングセンター前にある慰安婦像を視察。  
 大通り沿いにあり、アメリカ星条旗と韓国国旗が両脇に挿してある。  
 そして、碑文の内容とは、あちこちの慰安婦像の碑文と同じ、テララメな捏造の歴史の羅列。韓国女性を暴行する日本軍兵士と旭日旗が描かれ、「FORCED SEX SLAVES」と書かれている。私を含め、参加議員全員が激しい怒りを覚えたことは言うまでもない。  
 我が国の隣国は、自ら反省することを知らない、本当に救いようのない国だ。

**2日目**

1月15日(水)10:00  
 LA総領事館を訪問し、須賀首席領事らと面会。(実は、渡米前、日本の外務省にて一時帰国中の新美総領事と面談をし、現地LAの状況や総領事館の活動について事前のヒアリングはしていた)

《以下、面談内容》  
 現状として、南カリフォルニアエリアにおいては日系26万人に対し、韓国系は30万人居住、韓国系アメリカ人の発言力が増大している。  
 日本の子供達がいじめられているという話は聞いているが、直接、当事者からの連絡はなく、具体的な事案は把握していない。現在、現地の日本人学校の父兄会にも情報の提供を依頼している。  
 従来、先人達の努力によって日本人は尊敬されてきたが、今般、韓国系団体が日韓の問題をアメリカの地域社会に持ち込むのはいかなるものか、と。韓国系の行

動は子供じみてファンテック、日本としては大人の対応をしていきたい。  
 これからも、さらなる慰安婦像、慰安婦像の設置を阻止すべく、各市議会、議員への働きかけをはじめ、適切なタイミング、適切な対応をしていく、とのこと。  
 私としては水面下での活動には敬意を表するが、韓国とは違って、まだまだ在米日本人と協力して国を挙げての活動と、韓国は言い難いような気がした。このままでは、韓国のロー活動に負けてしまうという危惧とともに、この問題解決に向けての大きなネックが「河野談話」であると再認識した次第。  
 いくら、第一次安倍内閣で「強制連行はなかった」と閣議決定しているとは言え、「河野談話」を否定しない限り、アピール力、反論力が乏しいのではないか。  
 1月15日(水)12:00  
 アメリカ司法省 地域社会関係担当役員であるロン若林氏と昼食会。  
 彼は、地域社会の紛争、いじめ、バイオレンス、ハイトクライム等の防止、解決の職にある。  
 懇談の中で、ロン若林氏は、「慰安婦問題については、アメリカではそれが事実かどうかは大したことではない、韓国は政府が全面的にバックアップしているが、日本は領事館を含め、宣伝、戦略が足りないのではないかと。」  
 1月15日(水)14:00  
 日米文化会館の大会議室において現地の日本人の方々とのパネルディスカッション。今回の私達の訪米については、多くのカリフォルニア在住の日本人有志の皆様にご協力をいただき、視察行程や要人とのアポイントメントをアレンジしてもらった。本当に感謝である。  
 (特に、True Japan Net

work 「慰安婦問題と戦う有志の会」の皆さんには大変お世話になりました) パネルディスカッションについては、作家、実業家、元大学教授をはじめとする現地の日本人の方々から、韓国人による異常な慰安婦プロパガンダを非常に憂慮している切実な声を聞くことができた。また、敢えて、実名で被害を訴えることは、倍返しで報復を受ける可能性さえあることも感じられた。やはり、日本政府、領事館、日本の世論の後押し、資金的援助がもっと必要であろう。

そして、私達に対して、こんな状況下で、訪米し抗議の声をあげてくれたことに感謝すると皆さんから言われ、私達もさらなる協力・連携を約束させていただいた。  
**3日目**  
 1月16日(木)9:45  
 いよいよグレンデール市庁舎へ  
 市長や議員への私達の面会要請に対して、市議側が「政治家とマスコミには会わない」として面会を拒否。  
 それ故、私達は、多くのマスコミが待ち構える中、市庁舎に入り、市長を含む5人の全議員宛に抗議文を提出、グレンデール市側もそれを正式に受理してくれた。本当は、慰安婦設置推進派の議員に会って、その間違った歴史認識を糾したかったのだが、少なくとも抗議の意思だけは伝わったように思う。  
 昨年7月に建てられた慰安婦像は、市立図書館に隣接した静かな公園の中にある。  
 (慰安婦像の説明文には、Peace Monumentとして、「私は日本軍の性奴隷だった」と書かれている)  
 家族連れや子供達が遊ぶ憩いの場所に、こんな、日本と日本人を貶める不埒なモ

動は子供じみてファンテック、日本としては大人の対応をしていきたい。  
 これからも、さらなる慰安婦像、慰安婦像の設置を阻止すべく、各市議会、議員への働きかけをはじめ、適切なタイミング、適切な対応をしていく、とのこと。  
 私としては水面下での活動には敬意を表するが、韓国とは違って、まだまだ在米日本人と協力して国を挙げての活動と、韓国は言い難いような気がした。このままでは、韓国のロー活動に負けてしまうという危惧とともに、この問題解決に向けての大きなネックが「河野談話」であると再認識した次第。  
 いくら、第一次安倍内閣で「強制連行はなかった」と閣議決定しているとは言え、「河野談話」を否定しない限り、アピール力、反論力が乏しいのではないか。  
 1月15日(水)12:00  
 アメリカ司法省 地域社会関係担当役員であるロン若林氏と昼食会。  
 彼は、地域社会の紛争、いじめ、バイオレンス、ハイトクライム等の防止、解決の職にある。  
 懇談の中で、ロン若林氏は、「慰安婦問題については、アメリカではそれが事実かどうかは大したことではない、韓国は政府が全面的にバックアップしているが、日本は領事館を含め、宣伝、戦略が足りないのではないかと。」  
 1月15日(水)14:00  
 日米文化会館の大会議室において現地の日本人の方々とのパネルディスカッション。今回の私達の訪米については、多くのカリフォルニア在住の日本人有志の皆様にご協力をいただき、視察行程や要人とのアポイントメントをアレンジしてもらった。本当に感謝である。  
 (特に、True Japan Net

二コメントがあるのは、絶対に許されるものではない。

韓国系団体のロビー活動や接待に凋落されたグレンデール市議達に怒りを禁じえない。

当然、それを見過ごし、油断していた日本政府にも責任があるが、やはり、最も悪い奴は、嘘と捏造の歴史を垂れ流し、ディスカウント・シャパンを執拗に行う韓国人と韓国政府である。

とは言え、私達は武士道の国、礼節の国、日本から来た議員である。相手と同じレベルにはなりたくないというところで、抗議の仕方も大局的な見地から、堂々とそして粛々と行なった。

すなわち、アメリカ国旗と日本国旗を持ち、抗議の横断幕の内容も次のようになった。

「Children need heart-warming monuments」

「子供達の心が温かくなるモニュメントを建てよう」

1月16日(木) 11:30

姉妹都市である東大阪市が1974年に寄贈した日本庭園・茶室を見学。

昨年、抗議に来た東大阪市議の樽本氏に対するグレンデール市の非礼については、同じ地方議員として、やはり看過できないものがある。が、姉妹都市ゆえに、今後の慰安婦像撤去に向けての行動にも正直、期待するところだ。

1月16日(木) 13:00

日系二世 ロバート・ワダ氏の Japanese American Korean War Museum を訪問。

ワダ氏は、第2次世界大戦中、日系人収容所で過ごし、1951年、20歳で海兵隊員として朝鮮戦争へ志願参戦。日系アメリカ人として韓国を命懸けて守り、

解放。

彼は、プエナパーク市等へ手紙を書き、慰安婦像設置阻止に尽力された功労者である。

1月16日(木) 15:00

日米文化会館5階大会議室で共同記者会見。

ここでも多くの日本のメディア、現地メディアが集まった。(何と、朝日新聞記者もいたが、すぐ退出されたようだ。)

慰安婦問題というのは、現在、女性の人権問題として叫ばれ喧伝されていることもあり、記者会見では参加女性5名が前面に並び、我々男性陣は後ろの席でフオーにまわった。

記者会見において、私は、以下のように述べた。

「私は、悪名高い河野洋平が住んでいる神奈川県の大田区議会議員である。同じ自民党の政治家として、私は彼を絶対に許すことはできない。従軍慰安婦20万人強制連行とは、朝日新聞、河野談話、韓国政府による戦後最悪のファンタジーである。」

今回の私達のグレンデール抗議活動は、日本においても新聞各紙、さらにNHKを始めとしたTVでもニュースとして放映された。

そして現地においても、少なからず、韓国系団体やグレンデール市議達にプレッシャーを与えたと思う。

これからも、私達は勇気をもって、隣国の間違っていることは糺し、世界における今の日本人の地位を築いてくれた先人達の名誉と誇りを守っていかねばならない。

もう、我慢好きの日本人でも、我慢の限界である！

# 横山英幸大阪府議の対応

H26-1-30 M情報 増木重夫

私の本業は学習塾だ。職員は夜10時ごろ帰る。その中に阪急西中島(大阪市淀川区・新大阪から南へ500m)から通ってくる女性の先生がいる。以前から相談を受けていたが、西中島の駅の北側の繁華街で、風俗の呼び込みがひどく、最近特激しく怖くて通れないので、反対から遠回りして帰っているという。とりあえず昨日現場を見に行ったら、いるいる、「〇〇を見たら△△だと思え」という代議士がいたが正にその通り。50mほどの通りにざっと50人。客の呼び込みに勤しんでいる。半分は20歳くらいの女の子。車を止めて歩いてみる。「いい娘いますよ。」「寄って行きませんか。」「私は客引きちゃんから警察と見られるのかヤクザ屋さんに見られるのかは知らないが、どこへ行ってもあまり声はかからない。ところがここは無法地帯。怖いもの知らずというのか、この私に声をかけてくる。アホな奴がいて私の肩を叩いてきた。それを払ったらそのお兄ちゃんぶっ飛んでしまった。4〜5人に「やりすぎやで!」と声をけるが無視。そこで駅前の交番から、淀川署へ電話。嚴重な取り締まりを申し出る。ところが電話に出た担当のおまわりさんは、めんどくさそうに「見に行きます。」というだけ。言葉尻を掴んでもしょうがないが、実情を見に行かないとわからないというのか。日頃のパトロールをサボっていますと自ずから認めたとような話だ。

この調子では警察署に怒鳴り込んでも無意味。そこで、警察は大阪府の管轄だ

から、府議に同行してもらい怒鳴り込もうと考え、旧知でもある淀川区選出の横山英幸府議(維新)に電話。事情をまくし立て、1回現場を見て欲しいと頼んだ。議員は涼しい声で「何回も見に行ってますよ。あと3月ほど待ってくれませんか。」「という。詳しく聞いたら、「客引き禁止条例」を作っていて、この4月から施行の予定だという。普通は陳情して条例化など5年くらいかかる。もちろんこの件は誰かが過日に陳情し、月日をかけて練り、完成しつつある時、たまたま私が電話したのだから、私にしたら、陳情したら3ヶ月で条例を作ってもらえる。という、涙が出るような話。

これぞ地方議員の仕事ではないだろうか。横山議員の思想信条がいかかかは知らない。しかしどっちであろうが、重要なことは、地元の人たちの安心を素早く形にすること。このことが何よりも大事ではなからうか。そしてその延長線上に「大阪都」構想があるのだと思う。

この話を、NPO法人百人の会社理事長に話したら、「深〜〜いご理解、感謝します。」「と言われた。



横山英幸大阪府議会議員

# ファイファイに頑張っては不要

H26-1-15 現代撫子倶楽部 中谷良子

私も「頑張ってください。」と言われると、「じゃあ、分かりましたから資金をお願いします。」と、ついイヤミのひとも言いたくなる(また、「金の亡者」と言われそう)。以前に金美齢さんと立ち話をしていたとき、金さんに「頑張ってください。」と声をかけた人がいた。すかさず金さん「ナニ言ってるのよ、あなたが頑張るのよ。」と噛み付いたのを思い出した。ファイファイやJellyに全く同感。でも、本当にヤバイ時は逃げようね。Jelly(増木)

Jellyの山谷良子のブログです  
<http://ameblo.jp/ryobalo/>  
2014-01-15NEW!  
ファイファイに「頑張って」は要りません。

ファイファイさんのほうが、昔間の日本人よりも愛国心があり、冷静に日本を見ていますね。私も以下の発言に同感。日本人自身が勇氣ある一歩を踏み出さなければならぬと思います。

私もよく激励を受けますが、それはそれで大変嬉しいことなのですが、日本人1人1人が立ち上がったって共に行動してくださいれば、もっともっと素晴らしい運動になるのになあ、なんか人任せだよなあ・・・と思うことも、ぶっちゃけありますね(その方が、何らかのアクションを起こされていれば別ですが)。

今の日本人はリスクを背負ってまで行動する気はない、ということですか。人それぞれ様々な職種、立場があります。し

かし、その自己保身的な考えが、概概を失くし、逃げることに促われている日本人が多数派を占めている以上、日本は良くならないと思います。

今やっと、やや正常な政治、国民になりつつある予兆が見えていますが、それでもまだまだですよ。

今の日本人はリスクを負いたくないという観念が強すぎ、すべて逃げの姿勢に転じてしまっていると思います。今の日本人には逃げない姿勢こそ大事なのです。以下、ファイファイ姐さんのごくごく当たり前のト正論。

~~~~~  
ブログやツイッターでいつも応援メッセージをいただくんですが、実は「頑張って」と言われるたびに複雑な気持ちになります。日本のメディアにとって耳の痛い話や、政府の政策に対する苦言を続けていると、それなりの圧力もかかるし、少なからず仕事に支障が出るのは否めません。それでも発言を続けてほしいと応援されることには正直違和感があります。私は問題提起をして自分の意見を言うことまではできますが、日本を変えることではできません。しかも私の存在が不都合なら、私の活動を制限する力も働かし、発言を弾圧することも容易です。それだけではありません。そもそも私はこの国において外国人です。今は日本国籍の息子を日本で育てるために滞在しています。以上、当たり前のことなんです。

私たち外国人にとって日本は所詮、外国。家族の事情で帰ろうが、社会状況を判断して帰ろうが、帰る国のある外国人には、選択する自由がある以上、当たり前のことです。

東日本大震災のとき、帰国した外国人に対して薄情だという人がいました。逆に考えたらどうでしょうか。震災の一月前に、エジプトでは革命が起きました。不安定な情勢の中、どれだけ日本人がエジプトから日本へ帰国したでしょう。もちろん日本人だけではありませんが、その外国人のことを薄情だというエジプト人はいません。エジプト人は、はじめから外国人にそこまで期待していないからです。

私は日本に36年間生きてきて、それでも自分の立ち位置を外国人だと自覚しています。所詮はよその国の人間なんです。私に大きな期待をされても困ります。

外国人がこの国に対し無責任であっても、それは何ら不思議なことではありません。この国の未来を外国人に期待することも間違っているし、外国人の力に頼って変革を期待するのも違っています。日本の未来は日本人で変えていくべきなんです。

私は「頑張って」の言葉の裏に、どこか他人まかせな無責任さを感じます。外国人が矢面に立つほうが発言しやすい意見もあるとは言いますが、外国人だからって発言するのは楽じゃありません。タブー視されてきたことに意見をすれば、それだけ圧力がかかるし、リスクを負います。タブーに切り込む発言をするには、相当な忍耐力を要します。それを祖国でもない国のために、外国人が身を削ってやってくれると期待することは、あまりにも無理があるのです。日本人はもっと個の力を信じるべきだ

し、自分たちの未来への責任を自覚するべきだと思います。まずは日本人のための日本を、日本人の手で築く努力をするべきなんです。

そのためには外国人に「頑張って」は必要ありません。日本人が声を上げてください。日本人自身が重い腰を上げない限り、いくら外国人が頑張っても、変わりません。それどころか日本人にとってではなく、外国人にとって居心地のよい日本になってしまいかもしれないのです。私、外国人の政治参加は必要ないと思っていますが、外国人の声を吸い上げて、制度に反映することは大事だとは思いますが、それでも外国人がこの国で参政権を持つ必要はないと考えています。

本当に日本の政治に参加したいというなら、この国に骨を埋める覚悟を見せるべきなんです。日本人に帰化してから、日本人として政治参加すればいい。

でも結局、今の日本をダメにしているのは日本人なんです。自分さえ良ければいいという無責任な姿勢が、この国をダメにしています。自分のことしか考えられないのは余裕のないことの表れ。

「ファイファイはいつも日本の社会に不満を言ってるよね」って印象を持つ人がいるかもしれませんが、そんなことはありません。

私は自分の生活に満足していて、周りを見る余裕があるから、発言しているんですよ。それは歯止めのかかない物欲ではなく、精神的な満足感です。自分が満足すれば人のことも考えられます。

だから、まず日本人が幸せになれる日本を目指してほしいのです。そうすれば自然に外国人とうまく共生できる社会を考えられるようになりますから。日本人

# 侵略国家をいづく非難に対する日本の弁明

H26-2-1 UNK通信 大谷和正

## ソクラテスの弁明

古代ギリシャの哲学者ソクラテスは身に覚えのない罪状で公開裁判にかけられた。「アテナイの国家が信じる神々とは異なる神々を信じ、若者を墮落させた」などという告訴の背景にはペロポネソス戦争とその後の暴政など複雑な事情があったと言われている。ソクラテスは最後まで自らの罪を認めず、追放という減刑も拒否し結果的に死刑判決を受けるに至った。

《下段頭へ》

### 《前頁末尾より》

が満足しないで、どうして他の国の人を満足させられるでしょうか。

「フィフィは外国人に敵しい」それは違います。この国に住まわせてもらっている以上、ポライトの礼儀正しいいであるべきです。「フィフィは在日外国人が嫌い」それも違います。私だって在日外国人。「在日が嫌いなんじゃない、反日が嫌いなだけ」日本が嫌いで、この国に居座ったり、すり寄ったりすることの矛盾を指摘しているだけです。

この「当り前のこと」を言えない今の日本は、やっぱり異常です。どこか間違った方向に進んでいるんですよ。

私はやっぱり日本が好きだから、日本に暮らしてきました。祖国エジプトに帰ることはいつだってできましたが、この国が大好きだから日本に住んでいます。辛いこともあったけど、それ以上に私を支えてくれた人々の顔しか思い浮かびません。

### 《上段中央より》

神事の忌みによる猶予の間に弟子のプラトンらによって逃亡・亡命も勧められ、また牢番も彼がいつでも逃げられるよう鉄格子の鍵を開けていたが、ソクラテスはこれを拒否した。票決に反して亡命するという不正をおこなうよりも、死に殉ずる道を選んだとされる。これを嘆いたプラトンがソクラテスに代わり弁明したのが『ソクラテスの弁明』という本である。ソクラテスやプラトンの心境を現在の日本人はどう見るのであろうか。

## サンフランシスコ平和条約の意味

七年近くの戦勝国による軍事占領の後、日本と戦勝国との間で平和条約が結ばれた。この条約が結ばれることによって講和が成立し、日本は独立を回復したのである。昭和20年09月に戦闘行為は終結したが、軍事占領即ち戦争は継続していたのである。講和成立と同時に占領中のすべての指令等はその効力を失うというのが国際法上の原則である。この原則に従えば、極東国際軍事裁判は無効となり日本がこの裁判に従う必要はないのである。これに従い日本が戦犯を直ちに釈放する可能性があり、これを防止する為戦勝国は第一一条を設定したのである。

独立を回復した当時、日本政府や国会もこの条文を正しく理解していた。従って所謂「A級戦犯」と言われた人々も、正当な国際的、国内的手続きを経て釈放されている。終身禁固刑の賀屋興宣は後日、第三次池田内閣の法相になり、禁固

七年の重光葵は鳩山内閣で副総理・外相となり、日本の国連加盟が承認された第一回国連総会には日本代表として出席し代表演説を行っている。日本を裁いた戦勝国側からこの件に関し異議は一切出されなかった。戦勝国側も日本政府と同じく国際法の原則を理解していた確かな証拠ではないか。

## 外務省の犯した大罪

敗戦直後の日本の政治家はシナやコリアに対し卑屈ではなかった。それが時間が立つにつれ卑屈度が増して来ている。講和条約第一一条についての外務省の解釈が変わって来たことに、その原因の一つがあると考えられる。外務省はいつの間にか「裁判」と「判決」を混同し、不勉強な政治家を洗脳して来た。その結果が現在の日本の卑屈外交なのである。

第一一条では「極東国際軍事裁判所並びに日本国内及び国外の他の連合国戦争犯罪法廷の諸判決を受諾」とあるが、これを外務省は「戦争犯罪法廷の裁判を受諾」と意図的に誤訳している。原文を見ると問題の箇所は「judgement」ではなく「judgment(複数形)」なので明らか

に「裁判」ではなく「諸判決」なので、外務省の悪意が透けて見える。その経緯を見ると昭和20年、衆議院外務委員会が社会党の土井たか子議員の質問に答え、小和田条約局長が「日本外交は極東国際軍事裁判の“平和に対する罪”を背負ったハンディキャップ外交である」と答弁している。それまで日本は公式に東京裁判について納得しているとは一言もいっていない。ただ個々の被告に対する「判決」は認め刑期の残っているものの服役は継続させるとしたのである。そして国会で与野党一致で「戦争犯罪による受刑

者の釈放に関する決議」を行い最終的に日本には戦犯はいなくなったのである。

シナやコリアに東京裁判を論じる資格はない

コリアは日本と戦った訳ではなく東京裁判を論じる資格はない。シナに関しては当時、国を代表していたのは戦勝国の一員であった中華民国政府であった。サンフランシスコ平和条約締結の翌年、中華民国との間に平和条約を締結しているが、東京裁判について特別の言及はなされていない。この条約に付属する議定書の項では、サンフランシスコ条約の第一一条は「この条約の実施から除外する」とわざわざ断っている。戦犯について特に重要視すると思われた中華民国はこれを一切問題としていなかった。現在の中共政権が東京裁判についてとやかく言う権限・資格は全くないのである。シナ・コリアから何か言ってくるても日本は取り合わなければならないのである。

## 日本の弁明をなすべきものは誰か？

東京裁判で名誉を傷つけられた所謂戦犯も日本は国として正式に戦犯として認めていない。処刑された所謂「A級戦犯」も戦犯ではなく「公務死」とされ靖国神社に合祀されている。

現在、我々日本人はプラトンとなり、日本国の名誉を回復させねばならない。その為には日本人自身が日本の歴史・国家理念を心底から理解することである。周りに反日自虐日本人が居れば正しい情報を与え彼らの洗脳を解かねばならない。まず手始めに家族・友人・知人に話をしようではないか。その小さな努力が大きな成果となり日本の名誉は回復されると考えるが如何であらうか。

# 永遠の0ーじゅくー再研究

平成26年1月18日  
広島 中山善照

日本人にとってゼロ戦は、栄光と悲劇の物語として、この先も何代も何代も語り継がれる「永遠の0」であろう。

ゼロ戦をテーマにした2つの映画・宮崎駿アニメ「風立ちぬ」と百田尚樹原作「永遠の0」を見た。

●2つを見比べての映画評(雑感)

百田尚樹原作「永遠の0」100点  
宮崎駿アニメ「風立ちぬ」30点

●特攻に批判的だった天才的パイロットの死

百田尚樹のベストセラー小説「永遠の0」を読み、映画を見た。

主人公の宮部久蔵は天才的な技量をもつパイロットであったが、内地の妻や娘のため絶対に死なないという信念をもっていたため、数十機が入り乱れる空中戦(乱戦)では、列機と共に高空で流れ弾をさけていたため、被弾したことが一度もなく、そのため、逃がっているのではないかと、海軍一の臆病者ではないかとの風評があった。

小説は、孫にあたる佐伯堅太郎が祖父・宮部久蔵がいかなる人物であったかを旧海軍関係者を訪ね、調べていく経過を描いてゆき、読者に、真珠湾攻撃、ゼロ戦の初陣、ミッドウエーの敗戦からラバウル、特攻へと、ゼロ戦の栄光と悲劇を物語っていく。

読んでいくうち、読者は宮部久蔵の人格の高さと家族のもとに生きて帰ろうと

いう愛の思いに共感していく。彼は列機の部下を空戦で死なないように守ってきたし、部下に「お前が死んだら悲しむ家族はいないのか。絶対に死ぬな。命を大切にせよ」と諭す。

特攻にも批判的であった。宮部は特攻志願兵の訓練を行うが、彼らの飛行技術にわざと落第点をつけ、できるだけ出撃させないようにすらしした。

そのような宮部が終戦直前、特攻に志願し、鹿屋飛行場から特攻に出撃、米空母タイコンデロガに突入して散華する。享年26才であった。

以下、このときの突入状況を描いた、この小説のエピソード部分を抜粋紹介する。

●空母タイコンデロガに突入

ゼロが4000ヤードまで近づいた時、40ミリ機銃が一斉に火を噴いた。たった1機の飛行機に何千発もの機銃弾が撃ち込まれるのだ。機銃ごとに色違いになった無数の曳痕弾がゼロに向かって飛んでいく。

ついにゼロが火を噴くのが見えた。やったぞ、と俺は叫んだ。黒煙を吐いたゼロはいきなり急上昇した。機銃員たちは慌ててその後を追ったが、鋭い動きについて行けなかった。

ゼロは燃えながら上昇し、機体を捻って背面になった。

そして空母上空に達すると、背面のまま、逆落として落ちて来た。俺たちはなす術もなく、悪魔が上空から降りて来るのを見ていた。あんな急降下は一度も見

とがない。いや、燃える飛行機にあんな動きができるのか。

ゼロはまさに直角に落ちてきた。命中の瞬間、俺は目をつむった。ゼロは飛行甲板の真ん中にぶつかって、ものすごい音がしたが、爆弾は炸裂しなかった。不発だったんだ。ゼロは甲板の真ん中で燃えていた。周りには飛び散ったゼロの破片が散乱していた。後になって何人かの水兵に聞いたが、ゼロは甲板にぶつかる直前、翼が吹き飛んだという。

俺たちは全員、声も出ないほど震えていた。甲板にはゼロのパイロットのちぎれた上半身があった。それは悪魔ではなかった。俺たちと同じ人間だった。

誰かが大声で叫びながら、その死体に拳銃を撃った。

甲板の火はまもなく消し止められた。そこに艦長が降りてきた。艦長は半分にちぎれた遺体をじっと見ていたが、その遺体に向かって言った。

「我が軍の優秀な追撃戦闘機と対空砲火をくくり抜け、よくぞここまでやってきた」

その思いは俺たちも同じだった。このゼロは俺たちの猛烈な対空砲火を見事に突破した。艦長は皆に向かって、大きな声でこつ言った。

「我々はこの男に敬意を表すべきだと考える。よって、明朝、水葬に付したい」

周囲の男達に動揺が走った。俺も驚いたし、とんでもないことだと思った。もしこの男の爆

記事なし。写真だけで充分 12/28



弾が不発でなかったら、我々の何人かは死んでいたかもしれないのだ。しかし艦長は我々を睨みつけた。それは「この決定には口を挟ませないぞ」という目だった。我々は飛び散った遺体を集めた。その時、誰かが日本兵の胸ポケットから1枚の写真を取り出した。

「赤ん坊だ」その声に、皆が写真を覗き込んだ。俺も見た。着物を着た女が赤ん坊を抱いている写真だった。

「くそっ。俺にもガキがいるんだ！」

ルー・アンバーソン曹長が吐き捨てるようにいった。それから写真を丁寧に遺体の胸ポケットに返した。そして部下の水兵たちに言った。「一緒に葬ってやれ」遺体は白い布でくるまれ、艦橋下の待機所に安置された。俺は遺体をくるむ時パイロットの閉っていた目を閉じてやった。怖かった顔が優しい顔になったのを覚えている。

ゼロの残骸は海に投棄された。コクピットに残っていた遺体の半分は取り出すことができず、そのまま投棄された。ゼロが抱いていた爆弾も信管が抜かれ、同じように投棄された。

翌朝、手空きの総員が甲板に集まった。今では、あの時の艦長の態度は立派だったと思っっている。艦長の息子は真珠湾で戦死したと知ったのは戦後だ。それを聞いて、尚のこと、あの時の艦長は立派だったと思った。

一夜空けると、我々のほとんどの名も知らぬ日本人に敬意を抱いていた。

特にパイロットたちは、彼に対して畏怖の念さえ持っていたようだ。彼らが言うには、ゼロのパイロットはリーダーに捕獲されないように何百キロも海面すれすれを飛んできたのだらうということだった。それには超人的なテクニックと集中力、そして勇気が必要だということだ。「奴は本物のエースだ」とレヴィンソン中尉が言った。レヴィンソン中尉は「アイコンテロガ」のエースパイロットだった。多くのパイロットが頷いた。「日本にサムライがいたとすれば——奴がそうだ」俺もそうだと思っただ。しかしこのパイロットがサムライなら俺たちもナイトでありたい。

手空きの総員が甲板に整列する中、艦長以下、士官の拳手の礼に送られて、白

布にくるまれたパイロットの遺体は甲板から海中に滑り落とされた。遺体は、ゆつくりと海の底に沈んでいった。

PS  
●戦艦ミズーリに突入した特攻機

むろん、このエピソードはフィクションであって事実ではない。作者が架空の人物の、この物語の主人公・宮部久蔵の最期を敬意をこめて書いたものであろう。しかし、神風特攻で同じような事実がある。航空母艦「アイコンテロガ」も沖縄戦で特攻攻撃を受けているが、このエピソードは、戦艦ミズーリに突入した零戦の、以下の実話をもとに描かれている。

昭和20年4月11日、沖縄戦で石野二飛曹は戦艦ミズーリに突入した。爆弾は不発だったらしい。甲板に残された石野二飛曹の遺体は、ミズーリ艦長の異例の配慮で、白布くるまれ翌日水葬に付されている。

●永遠のO  
日本人にとってゼロ戦は、栄光と悲劇の物語として、この先も何代も何代も語り継がれる「永遠のO」であらう。

神風特攻が戦術的に正しいかといえば、間違っているに決まっている。戦争をありていに言えば、自分は死なず、敵を殺すことであると言っただけからである。ゼロ戦の歴史は栄光と悲劇の歴史である。

開戦当時の無敵の戦闘機はやがて爆弾を抱えて敵艦めがけて体当たりする悲劇の戦闘機となった。小説の主人公・宮部久蔵は特攻を否定しながら、最後は特攻隊へ志願し、敵空母に体当たりする。このことで、作者の白田尚樹は一切の思想

をまじえず、日本人とは何かを描いたのだと思う。

アメリカ軍の物量に圧倒され、飛行機、艦船と優秀な乗組員を失っても、祖国日本を守るために、最愛の家族を守るために自分の命を犠牲にしても、という思いが特攻を生んだのだ。

自分の身を犠牲にしても忠義を全うしようとした忠臣蔵の赤穂義士のような精神が特攻を生んだのだと思う。それは日本の歴史が育んだDNAかも知れない。戦後、平和な世の中で特攻を批判するのはたやすい。

また、批判する自分は平和主義者でしベルが高い人間だという錯覚も楽しめる。だが、先の大戦がなぜおきたのかを世界の観点で見ると、ちがった風景が見えてくる。戦後アジア諸国は欧米の植民地からすべて脱した。これが大東亜戦争の歴史結果である。

左翼思想の宮崎駿はこういう風景が見えないので、ゼロ戦の設計者を私的恋愛ドラマの主人公にすりかえ、平和主義者に仕立てた。だが、なんと偽善、なんと薄っぺらなストーリーだろう。本当の愛を語ったのは、そして平和を訴えたのは、宮崎駿の「風立ちぬ」ではなく、白田尚樹の「永遠のO」だった。私は、「風立ちぬ」を見て一粒の涙も流さなかったが。

左翼思想の持ち主にあの戦争を語る資格はない。左翼は常に己の人間性の低さを棚上げ、己を神の立場に置いて、人々に説教を垂れる偽善者であるからだ。

~~~~~  
永遠のOを批判される人もいる。しかし、この中山氏の批評にはちょっと反論できないんじゃないだろうか。

(増木)

知覧から平和を祈る  
〜永遠のO(ゼロ)を観て〜  
和歌山県防衛協会青年部会 柳岡克子  
平成26年1月18日

1月に、白田尚樹さんのベストセラー小説「永遠のO(ゼロ)」の映画を観ました。「V」の岡田准一主演、山崎貴監督が映画化した作品です。

司法試験に落ち続け、人生の目標を失いかけた佐伯健太郎(三浦春馬)とフリーライターの姉慶子(吹石一恵)は、実の祖父だと思っていた賢一郎(夏八木勲)とは血のつながりがなく、本当の祖父は太平洋戦争で特攻により戦死した宮部久蔵(岡田准一)という人物であることを賢一郎の妻松乃(井上真央)の死後しばらくして知ります。

祖父について調べるため元戦友たちを訪ね始めたN人は、宮部は「生きて妻のもとへ帰る」と公言し続けた凄腕の零戦パイロットであったことがわかります。そんな宮部がなぜ特攻に志願したのでしょうか。やがて戦後のO年(原作2009年)にわたり封印されきた驚きの事実が隠されていました。

神風特攻隊とは、零戦に250kg爆弾を抱かせて体当たりして突撃し敵をやっつけるのです。戦火が悪化し帰りの燃料も積めず突撃しかなかったのです。若い隊員は、死を覚悟の上、国のためにと自ら志願し特攻で尊い命を失いました。

百田さんは、戦争を経験した世代と子ども世代をつなぐ作品を描きたいと考え、008人が特攻出撃した、鹿屋(かのや)基地を映画の舞台に取り入れたそうです。

2月7日、8日和歌山県防衛協会青年部の冬季研修として、海上自衛隊鹿屋航空

基地を見学しました。鹿屋航空基地は、知覧からは鹿児島湾を挟んで大隅半島側にあり、昭和十二年鹿屋海軍航空隊に始まり多くの戦闘に参加しました。それらに従事し、捧げた尊い命を悼み、多くの歴史を伝えるため、昭和十七年に史料館を設立し、平成五年には、改めて旧海軍航空隊の興亡の軌跡と、戦後の海上自衛隊航空部隊の歩みを伝え、国を守ることをわかりやすく理解できるように、新史料館を開設しました。

館内には旧日本海軍創設期から第二次大戦にいたるまでの貴重な資料のほか、「永遠の〇」にも登場する「零式艦上戦闘機五二型」、特攻隊員の遺影や遺書などが展示されていました。そのほかにも1階では、海上自衛隊の活動状況が紹介されています。

鹿屋を後にして、噴火している桜島を見学し、翌日、知覧特攻平和会館へ行きました。

こちらの方が有名なだけに観光客も多く、人で一杯でした。まず語り部による特攻の歴史背景と特攻隊員の遺書・手紙などの特色について30分間ほど解説を聞きました。それから、資料館を回りました。

鹿屋と同じような隊員の遺影と家族・知人に残した遺書・手紙・辞世・絶筆等が展示されており一つ一つ時間の許す限り読みました。

映画で突撃のシーンを観ていたので、死を覚悟して国のため、家族のため戦ってくれた若き隊員の心の内を思うと涙があふれて止まりませんでした。素晴らしい日本の繁栄を祈りながら逝った人。愛する恋人や妻や子に宛てた手紙。特に感動したのは、母への思いを綴った感謝の手紙でした。

その中で一つ「母を慕いて」という継母への手紙を紹介させていただきます。

相花信夫

(少尉 昭和20年5月4日出撃戦死 宮城県出身18歳)

母上様御元氣ですか

永い間本当に有難うございました

我六歳の時より育て下されし母

継母とは言え世の此の種の母にある如き不祥事は一度たりとてなく

慈しみ育て下されし母

有難い母 尊い母

俺は幸福であった

ついに最後迄「お母さん」と呼ばざりし俺

幾度か思い切って呼ばんとしたが何と意志薄弱な俺だったろう

母上お許し下さい

さぞ淋しかったでしょう

今こそ大声で呼ばして頂きます

お母さん お母さん お母さんと

午後からは、薩摩伝承館という薩摩の歴史と文化を伝える美術館で海外との交易で使ったとされる伝統工芸品の数々を楽しみました。

夕方、指宿で砂風呂の砂に埋もれ、天候も良く穏やかな海を眺め、はるか遠くに散っていった若き命に思いをはせました。

戦争を知らない世代が増える中、語り伝えていかなければならない歴史の重みを感じました。そして、英霊たちが願っていた素晴らしい日本の平和が続きますようにと祈りました。

# 各位からのレポート

「安重根記念館」について思ふこと  
堺市議会議員 水ノ上成彰FBより  
2014年1月22日

1月19日中国のハルビン駅に初代内閣総理大臣である伊藤博文を暗殺した安重根をたたえる

「安重根義士記念館」

が開設された。それに対し日本政府は

「安重根は我が国の初代首相を殺害し、

死刑判決を受けたテロリストだ。地域の

平和と協力関係の構築に資するものでは

ない。」

と抗議した。私は政府の見解及び抗議

を全面的に支持する。国際情報を考えな

い単なるテロリストを英雄視する中韓の

歴史観は大いに疑問だ！

しかし翻って日本の歴史教育を振り返

れば伊藤博文初代内閣総理大臣を我々は

どれだけ讃えてきただろうか？

小中高の歴史教科書には若干の事実関

係しか記載されていない。伊藤博文は松

下村塾で学び明治維新の立役者の一人だ

ある。大日本帝国憲法は伊藤博文によっ

て創設された。帝国議会も伊藤博文なく

して語ることは出来ない。日清戦争の下

関条約で李鴻章相手に日本の勝利を確定

したのも、伊藤博文の功績だ。日本のみ

ならず朝鮮半島の近代化は伊藤博文なく

して語ることは出来ない。

我々日本人は単なるテロリストである

安重根を英雄視する中韓の歴史観を非難

するよりは、伊藤博文の歴史功績を見直

し、我が国の子ども達に教育することこそ重要である。

文学賞利につきぬ作品  
文芸評論家 蓮坊公爾  
2014年1月22日

立て続けに二冊「明治文学」を読んだ。

二葉亭四迷惑『浮雲』は、文体の明敏さ

が新鮮(言文一致)で読みやすさ！「恋」

の機敏に重苦しさは漂いながら、ロシア文学

に造詣が深い氏故に、恋する文三の葛藤

を的確に描いてゐる。

次に「煤煙」を手にする。著者森田草

平を知る人は、一輪の花に過ぎぬだろう

よ！この『煤煙』なる新聞小説(朝日新

間に連載)は、師夏自漱石の推奨による。

この新聞小説の成功によって、森田は一

躍時の人になってしまった。「私が一番

驚いてゐる」一あとがきで語る。女権派

大論者の平塚らいてう。女史との心中を

描いた作品である。この点も読者に興味

津津！「青鞥」なる女性誌の刊行も論議

を醸したから尚更だ。

驚おたのは、明治四二年の乍ながら「電

車」「喫茶店」他、今に連動さしむ大衆

化が登場する。流石に近代の黎明を感じ

させる。

追伸—文学賞利につきぬ作品故に、推薦

致します。

公務員の政治的中立に大きな疑問  
北海道議会議員・藤沢 澄雄FB  
2014年1月29日

現場教師と思われる「匿名」での「メン  
トがブログに寄せられた。

(匿名)・道議会議員はお気楽のことです

ね・・・自分たちは現実を省みない予算編成で道財政をどこまでも悪化させても、道職員の給与の削減で帳尻を合わせ、文句があるなら選挙で落とせばいいと・・・ですが4年に一度の選挙でその間はやりたい放題・・・仕舞いには海外に行つて扱いが低いとか：

自分たちが監督しなければならぬ道教委の無策を任意団体の北教組の教研に責任を負わせたり・・・大体、今の時勢で道教委の施策を実施しない自治体や学校はないし、それ以上に放課後学習や休日教育支援、家庭学習の強化・・・など現場はさまざまに取り組みをしているのに自分たちがその施策に重要な関与をしている道教委の取り組みを精査せず、一労働団体の教研をあたかも諸悪の根源のように喧伝する・・・これが悪意以外の何ですかね・・・

(藤沢) 返信：ご意見ありがとうございます。しっかりと道教委へ改善をもちたいと思うのですが、具体的な内容は是非お寄せください。

昨日聞いた道教委の対策のひとつに、学習の態度や姿勢など生活面から指導を行いたいとしても、現場の抵抗で実施できない学校もあると聞いていますが、その点はどうお考えですか？

また、現場が様々な取組をしてもなぜ学力が向上しないのか？お考えがあればお聞かせください。改善に向け対策のひとつになるかもしれませ「教研をあたかも・・・」

の件は、繰り返しますが、このコラムの主題である「公務員の政治的中立」に大きな疑問があることです。

現場はさまざまに取り組みをしている・・・取り組み方にも「松」「竹」「梅」

とありますから。取り組みは0(ゼロ)ではないでしょう。しかし、とても「松」の取り組みをしているとは思えません。しかし、藤沢議員の我慢強さに敬服。私なら、「ボケたこと言うな。」で終わり(増木)

**今からが大東亜共栄圏の仕上げのチャンス 京都北山細野の神主 中村重行 2014年01月30日**

戦前の大東亜共栄圏構想はアジアの国々では白人達の植民地からの独立は果たせたが本来の共に栄えるという理想はまだ完成していません。

日本と同じようにアジアの国々も国民も共に栄えるという最後の詰めがまだ出来ずに格差社会が進み、貧しい人はより悲惨な生活を送っています。

大東亜共栄圏を呼びかけた日本だけが経済成長からバブルを経験しバブルがはじけてもなおシアワセを謳歌して来ましたが、今また良い方向に進みつつあるこの時に、特に親日の国々からの留学生や技術習得希望者を受け入れてそれらの国々の発展に寄与し、戦前の大東亜共栄圏構想の仕上げをするチャンスと思います。

困っている時に優しく援助すればつけあがり、力を付けければ軍事力で恫喝し、悪口を世界に言いふらし、その上まだ援助を引き出そうとする乞食国家は相手にせず、軍事力で防衛して反対に脅し付けなければなりません。

隣国、支那人や朝鮮人は昔からそのような民族だったのです。1000年足らずで根性が変わることは無いのです。

日本の企業家ももうそろそろ本気で支那人朝鮮人の本質を知ったと思います。ま

だ認識しないバカや抜き差しならない企業もあります。それは自業自得で諦めて。これからの100年を東南アジアの国々とアラブの国々がもう一度大東亜共栄圏の仕上げに邁進するべきだと思います。

そして、大東亜共栄圏で栄えた国々が手を携えてアフリカの国々に援助の手を差し伸べる、大東亜・アフリカ共栄圏の設立がかなえられたらこの地域の世界から戦争の悲劇は無くなります。

人のため、他国の繁栄の為に損得抜きで貢献出来るのは世界で日本他には無いのです。理由は一つ、日本人には神道精神と言う、異質のものを認めて共に栄えようと言う許容量の大きい神道と言うバックボーンがあるからです。

釈尊はインドの神さまの一柱であり、イエスは中近東の神さまの一柱であると認める多神教の国柄だからです。

心の広い日本人だから可能なのです。一信教の世界観では征服は出来ても、共存共栄の世界は創ることは出来ないのです。まして、神を信じない支那人朝鮮人にはムリムリなものです。日本に生まれて来て本当に良かったのです。もし、支那人や朝鮮人に生まれて来たとしたら？

考えてもソツとしますね。(これを差別だと非難する人は、これまでの、最近の中共、南北朝鮮の姿を認識してからにしてください)

**無責任な差別、誹謗中傷はやめよう M情報 増木重夫 2014年02月13日**

<http://www.youtube.com/watch?v=SwVjgV0DE>

「私は朝鮮人ではない。名誉毀損しないで！」 福島瑞穂(趙春花)

福島瑞穂議員の応援団が送付してきた

ビデオのようだ。

菅直人や土井たか子。あいつは朝鮮人(帰化人)だとか、日本人じゃないとか、いろいろ言われてきた。

証拠あるの？ 彼らの戸籍謄本見たの。と、問いたい。こつぶの飲み方が朝鮮人だとか、人相が朝鮮人だとか。その程度の根拠で、朝鮮人呼ばわりしていいのだろうか。

確かなのは、福山哲郎議員、白眞勲議員、蓮舫議員(ウイキペディアをよんでも、よくわからない)の3名。しかし、この3名とて謄本をみたわけではない。

あいつは泥棒だ！ なぜなら泥棒顔している。逮捕！ これでは世の中ムチャクチャになってしまふ。その「無茶苦茶」を、多くの所謂「保守」と言われる人はやっているのではなからうか。

あいつは泥棒だ。なぜなら出刃包丁で刺している。出刃包丁はマスコミ発表していない。犯人しか知りえない情報を持っている。だから彼は犯人だ。これが合理的な論理だ。

こつぶの飲み方や人相で人種を論じるということとは、自分で自分の論理破綻を認めたことにほかならない。その程度の根拠で朝鮮人呼ばわれされたら、事実でなかったらたまったものではないだろう。

論理的に攻められないから、論理のないことを言ってます。だったら初めから言うなよ。情けない。

根拠のない、無責任なデマを飛ばした人はどのように責任を取るのだろう。議員としての子。根拠のない誹謗を受ける湯割れはない。

まして大通りで、己の意見に反論した人を、「お前は朝鮮か。」などと言いながらを付け、キチガイとしか言いようがない。

「男女雇用機会均等法」に思う  
H26-2-5 M情報 増木重夫

今日午後、過日、救う会京都の藤岡が終電に乗り遅れ、「迎えに来い」と電話があり、助けに行ったらその道中スピード違反で捕まった(暗に、お前が罰金半分払え!と言ってるんだけど)。その罰金を払いに行った。

ちょっと派手目にブツ飛ばしたので罰金8万円。まあ、それはそれで仕方ない。日本は法治国家だから。さて、手続きのため役所に入る。いるいる。罰金仲間が。50人ほどいる。ここは俗に言いつ赤キップの人の略式裁判所。順番に手続きを進めていく。ふと周りを見ると女性は一人もいない。皆、野郎ばかり。

女性と男性は曜日を分けているのかと係りに聞いた。ところがそうではなく、いつもほとんど男性で女性はたまにいる程度だという。

うーうーん! やはり男性と女性は性格も性質も特性も違うようだ。スピード狂は圧倒的に男性が多い。もちろん速度違反以外の人もいるが。

さて、言いたいのは8万円の愚痴ではない。最近ではさほど言われないが(定着したのかな)、一昔前は盛んに言われた男女雇用機会均等法の1歩進んだ、役所の管理職等の女性枠。百人の会のように、能力がある人が、会員の総意によりトップに座るにはしごく当然。全く問題はない。ところが、能力関係なしに始めから幹部の2割は女性、などと決めておくやり方。公然とした規則としてはないのだから、暗黙の了解で、事実このようになっている役所を山ほど見てきた。女性の課長などと話をすると、論が詰まれば最後は必殺ヒステリー。

いいだろう。女性の社会進出。大いに結構。理解を示そう。それなら、スピード違反で捕まえるのも、始めから女性を2割と決めておけよ。

行政(最近では民間にもかなり普及しつつあるよう)の幹部の登用には女性枠が有り、スピード違反の取締はオープン。こんな現状、到底納得できない。法の下の平等が聞いて呆れる。

くれぐれも8万円の愚痴ではない。トホホホ! でもイタイ!

《後日談》

数日し、今度は30日の免停の行政処分のお知らせが来た。それで、29日免停を短縮してもらったための講習会に出席した。睡眠との戦いだ。そしてここでも男性が95%。50人の教室で女性は一人だけだ。しつこいようだが、男性と女性はその性質が違う。性質にあった仕事をしてらいたのであって、男性に向く仕事には「男性〇名」また、「女性〇名」と求人したりいい。男性に向く仕事を女性にさせたり、その逆も、どういう意味があるのだろうか。性別ごとの求人がタブーなのは全く理解できない。

編集後記

H26-2-5 M情報 増木重夫

橋下大阪市長が、公明党に対し、ついにブチキした。

「私(橋下)と松井は死ぬまで公明党の選挙区で出馬してやる。」などと、市長の激怒が漏れ聞こえる。

公明党を〇〇プリのように思っているわれわれにとっては朗報だが、橋下市長は公明党が大阪都構想に協力する代わりに、維新は一昨年末の衆院選で公明党の地盤(確か、5区)には維新から候補を

立てない。と約束し、決まっていた候補まで「不条理に耐える」などと云って下ろした。ところが今回、公明党はそんな約束は記憶にないという。

畏多くも市長! この点に関しては甘しい。共産党の方がまだ、約束は守る。

中国、南北朝鮮、ロシアと公明党。「約束」「節操」「ルール」そんなもの辞書

束」「節操」「ルール」そんなもの辞書に一切ないグループだ。

しかし、もう少し深読みすると、橋下はこんなことはじめから分かっていた。遠くへジャンプするなら助走が必要。一歩後退し、その反動で・・・かもしれない。

活動資金の協力をお願い

【文援等〇〇座】  
郵便振替 0068008245944 MASUKI情報デスク  
三井住友銀行 千代田支店 004349 普通 増木重夫

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは子供達に誇りある国を残すため、日々命がけて戦っています。ところが問題は活動資金。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっています。活動の報告書です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしくお願ひいたします。

○ カンパ金の主な用途は下記団体の、  
・ 活動の資料等の発送費・道路、公園

原稿・同封資料の募集について

弊会「M情報活動報告」は現在のごころ毎月全国約5千(目標1万)部発送しております。掲載ご希望の論文、情報等ございましたらごん表記事務所まで

諸情報のメール配信について

『M情報』では、日々、全国各地の仲間から、または情報収集の専門家から情報が送られてきます。それをメールで転送します。内容はごよりも詳しく多種多様。「量が多過ぎ」とお叱りを受けけるの

ですが、試して一度受信してみませんか。ご不要でしたら即停止いたします。要領は次のアドレスに「メール希望」と空メールを(発信名義「NPO法人百人の会」)。h100prs@oregano.ocn.ne.jp

- 使用申請料・交通費、通信費・資料、印刷等の制作費・備品購入費等
  - M情報がサポートしている主な団体
  - ・ NPO 法人百人の会
  - ・ 秋田美和さんを救出する川西市市民の会
  - ・ 米国に原爆投下謝罪を求める会
  - ・ スパイ防止法の制定を求める会
  - ・ 日教組の違法行為を追及する会
  - ・ 竹島を奪還する会・関西
  - ・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会
  - ・ 大阪の公教育を考える会、他
- ◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。